

新年のごあいさつ



日本商工会議所
会頭 三村 明夫



福井商工会議所
会頭 川田 達男

平成30年の新春を迎え、謹んでお喜び申し上げます。

さて、昨今の企業を取り巻く環境は、TPP11の大筋合意など明るい話題があるものの、北朝鮮問題、米国の保護主義的な政策など先行きの不透明感も大きくなっております。日本国内では人手不足の顕在化が賃金の上昇にも影響を及ぼし、また多くの中小企業における経営者の高齢化、地方経済の疲弊など、経営者の悩みは尽きなかったのではないのでしょうか。大きな時代の変化の中で、われわれ商工会議所が取り組むべき課題は山積しておりますが、「中小企業の課題解決が日本経済の成長に直結するものである」との信念の

もと、以下の重点課題に取り組んでまいります。

まずは「人手不足の克服」です。わが国における人手不足解消のためには、女性、高齢者、外国人などの多様な人材の活用とともに、ICTなどを活用した生産性の向上が不可欠です。商工会議所としては、会員企業への支援に必要な施策を政府の各種会議などで要請していくとともに、支援事業の実施に取り組んでいきます。

次に「事業承継」への取り組みです。昨年は、事業承継税制の抜本拡充を求める「推進大会」を開催するなど、総力を挙げて政府・与党へ働きかけた結果、平成30年度税制改正において、事

業承継税制の抜本拡充が実現しました。中小企業の事業承継は、単なる相続の問題ではなく、世代交代による中小企業の活性化、生産性向上、地方創生など、わが国経済の成長に関わる大変重要な課題であります。今後5年間で団塊世代の経営者30万人が70歳に到達する「大事業承継時代」を迎える中で、国の施策をフル活用し、わが国経済を支える中小企業の円滑な事業承継を後押ししてまいります。

上記2つの取り組みに「地方創生」を加え、「未来を拓く商工会議所」として、企業、地域、ひいては日本経済の持続成長の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

新年明けましておめでとうございます。本年も福井商工会議所は、「中小・小規模企業支援の強化」「地域振興・活性化の推進」「組織の活性化」の3つの重点方針のもと、会員企業と地域経済の発展のため活動してまいります。引き続き会員の皆様方のご支援ご協力を賜ります様お願い申し上げます。

中小・小規模企業の振興が、当所の使命と役割です。目下の経営課題に対する重点的な支援に取り組み、特に人材確保では、行政・大学等と連携し、県内企業の理解度向上や魅

力ある職場づくりの支援を行うなど、若者の一層の地元就職促進を図ります。また、生産性向上に繋がるIoT・AI等の活用や実用化に向けた支援を重層的に行う他、海外ビジネスへの挑戦を引続きサポートいたします。

更に、円滑な事業承継や小規模企業の経営計画作り・販路開拓・資金繰り等の支援を行い、地域経済の活力維持向上に取り組む所存です。

北陸新幹線敦賀延伸が約5年後に迫り、観光振興、まちづくりなど地域基盤づくりを進める重要な時期にある中、恐竜ブランドの磨き上げや

体験型観光資源の掘り起しなど、当所の地元対策プランを着実に実行してまいります。また、大飯原発が年内に再稼働されますが、一刻も早い国内原発の再稼働を望みます。

当所の役割機能を果たすには、強い組織力と行動力が不可欠です。会員組織の維持拡大、進取の精神を発揮した事業活動に取り組み、地域の企業から必要とされ、期待に応える商工会議所を目指し邁進いたします。

結びに、本年が会員企業の皆様にとりまして幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。